

1.5. 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

(1) 使用文献一覧

事業実施区域の周囲における動植物の生息及び生育の状況を把握するため、事業実施区域の周囲における確認種を抽出しました。対象地域は愛知県豊橋市及び田原市としました。

使用文献の一覧を表 4-1-50(1)～(2)に示します。

表 4-1-50(1) 動植物の生息又は生育状況の把握に用いた文献・資料

文献番号	文献名	発行元/発行年	項目											
			哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	魚類	底生動物	昆虫類	陸産貝類	クモ類	植物		
1	第1回自然環境保全基礎調査すぐれた自然図	環境庁、昭和51年		●										
2	第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書	環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和7年5月	●	●	●	●	●		●					
3	第3回自然環境保全基礎調査動植物分布調査報告書	環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和7年5月	●	●	●	●	●	●	●	●				
4	第4回自然環境保全基礎調査動植物分布調査報告書	環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和7年5月	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
5	第5回自然環境保全基礎調査動植物分布調査報告書	環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和7年5月	●		●	●	●	●	●	●	●			
6	第6回自然環境保全基礎調査動植物分布調査報告書	環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和7年5月	●	●										
7	愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち2020-動物編-	愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
8	愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち2020-植物編-	愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月												●
9	グリーンデータブックあいち2017	愛知県、平成29年12月												●
10	グリーンデータブックあいち2018	愛知県、平成30年12月		●	●	●	●		●		●	●	●	
11	愛知県鳥類生息調査(2015～2023)	愛知県環境局HP、閲覧：令和7年5月		●										
12	愛知県の河口域魚類 荒尾一樹・山上将史・大仲知樹	豊橋市自然史博物館研究報告第17号、平成19年3月					●							
13	サイエンスミュージアムネット	国立科学博物館HP、閲覧：令和7年5月	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
14	植物からの Save our species! : 愛知県の絶滅危惧植物	愛知県植物史調査会、平成8年												●
15	日本のシダ植物図鑑 : 分布・生態・分類	東京大学出版会、平成16年												●
16	愛知県史・別編・自然	愛知県、平成22年						●		●				●
17	環境省いきものログ	環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和7年5月	●	●	●		●		●					●

表 4-1-50(2) 動植物の生息又は生育状況の把握に用いた文献・資料

文献番号	文献名	発行元/発行年	項目												
			哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	魚類	底生動物	昆虫類	陸産貝類	クモ類	植物			
18	令和3年度(2021年度)中大型哺乳類分布調査報告書ータヌキ・キツネ・アナグマ	環境省自然環境局生物多様性センター、令和4年3月	●												
19	シカ情報マップ	愛知県森林・林業技術センターHP、閲覧：令和7年5月	●												
20	愛知の野鳥 1995	愛知県農地林務部自然保護課、平成8年3月		●											
21	愛知県の両生類・は虫類	愛知県農地林務部自然保護課、平成8年3月			●	●									
22	第二種特定鳥獣管理計画(ニホンジカ管理)	愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和4年3月	●												
23	第二種特定鳥獣管理計画(イノシシ管理)	愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和4年3月	●												
24	第二種特定鳥獣管理計画(カモシカ管理)	愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和4年3月	●												
25	豊橋市自然環境保全基礎調査報告書・資料編	豊橋市保健環境部環境対策課、平成11年3月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
26	豊橋市自然環境保全基礎調査報告書	豊橋市環境部環境保全課、平成27年3月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
27	豊橋の自然探検～守ろう！とよはしネイチャースポット2016～	豊橋市、平成28年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
28	アカウミガメのしらべ	豊橋市、平成15年3月				●									
29	アカウミガメのあしあと	豊橋市、平成25年3月				●									
30	愛知の動物	佐藤正孝・安藤尚、昭和59年11月	●	●	●	●	●		●			●			
31	豊橋市の植物	小林元男、平成13年6月													●
32	フィールドサイエンス いきいき！生きもの観察ガイド 愛知県版	三河生物同好会 編、平成12年6月		●		●		●	●	●					●
33	豊橋市自然史博物館研究報告	豊橋市自然史博物館HP、閲覧：令和7年5月			●	●	●	●	●	●					●
34	このはずく	東三河野鳥同好会、平成29年～令和5年		●											
35	西三河野鳥の会研究年報	西三河野鳥の会、平成29年～令和6年		●											
36	蟲譜	三河生物同好会、平成29年～令和5年	●				●		●						●
37	全国鳥類繁殖分布調査報告	鳥類繁殖分布調査会		●											
38	全国鳥類越冬分布調査報告	バードリサーチ、日本野鳥の会		●											
39	三河地方初記録の淡水生二枚貝フネドブガイ	西 浩孝、坂本博一、松岡敬二							●						
40	愛知県名古屋市、豊橋市、山梨県北杜市で発見された <i>Buldowskia shadini</i> ヤハズヌマガイ(新称)	川瀬基弘、横山悠理、横井敦史、熊澤慶伯							●						

(2) 動物の生息の状況

1) 動物相の状況

① 哺乳類の概況

調査区域において生息記録のある哺乳類として、ジネズミ、ニホンザル、カヤネズミ、アナグマ等を含む7目18科35種が確認されています。

② 鳥類の概況

調査区域において生息記録のある鳥類として、ミサゴやオオタカ等の猛禽類をはじめ、カイツブリ、チュウサギ、セッカ、ホオジロ等を含む23目68科355種が確認されています。

③ 両生類の概況

調査区域において生息記録のある両生類として、ヤマトサンショウウオ、ナゴヤダルマガエル、ヌマガエル等を含む2目5科14種が確認されています。

④ 爬虫類の概況

調査区域において生息記録のある爬虫類として、アカウミガメ、クサガメ、ニホンストップン、タカチホヘビ、ヤマカガシ等を含む2目11科17種が確認されています。

⑤ 魚類の概況

調査区域において生息記録のある魚類として、コイ、オイカワ、モツゴ、ドジョウ、ドンコ、カワヨシノボリ等を含む24目164科570種が確認されています。

⑥ 底生動物の概況

調査区域において生息記録のある底生動物として、マルタニシ、マツカサガイ等を含む28目74科155種が確認されています。

⑦ 昆虫類の概況

調査区域において生息記録のある昆虫類として、コバネアオイトトンボ、ベッコウトンボ、シャープゲンゴロウモドキ等を含む12目222科2,735種が確認されています。

⑧ その他の動物

(a) 陸産貝類の概況

調査区域において生息記録のある陸産貝類として、ゴマオカタニシ、スジケシガイ、ツムガタギセル等を含む5目22科132種が確認されています。

(b) クモ類の概況

調査区域において生息記録のあるクモ類として、ジグモ、キノボリトタテグモ、アシブトヒメグモ、テナガグモ等を含む1目38科294種が確認されています。

2) 動物の重要な種及び注目すべき生息地の状況

動物の重要な種の選定基準を表 4-1-51(1)～(2)に示します。

表 4-1-51(1) 動物の重要な種の選定基準

動物の重要な種の選定基準	
1	<p>「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別天然記念物（特天） ・天然記念物（天）
2	<p>「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号、最終改正：令和元年 6 月 14 日法律第 37 号）及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令」（平成 5 年 政令第 17 号、最終改正：令和 2 年 12 月 16 日政令第 352 号）に基づく国内希少野生動植物種等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内希少野生動植物種（国内） ・緊急指定種（緊急）
3	<p>「静岡県希少野生動植物保護条例」（平成 23 年 4 月 1 日静岡県条例第 37 号）に基づく指定希少野生動植物種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定種（県指）
4	<p>「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（昭和 48 年 3 月 30 日愛知県条例第 3 号、最終改正：平成 22 年 3 月 26 日愛知県条例第 12 号）に基づく指定希少野生動植物種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定種（県指）
5	<p>「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年 3 月）の掲載種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・CR：絶滅危惧ⅠA類 ・EN：絶滅危惧ⅠB類 ・VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群
6	<p>「静岡県版レッドリスト 2020」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和 2 年 3 月）の掲載種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・CR：絶滅危惧ⅠA類 ・EN：絶滅危惧ⅠB類 ・VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：地域個体群 <p>要注目種：（静岡県独自のカテゴリー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N-I：現状不明 ・N-II：分布上注目種等 ・N-III：部会注目種
7	<p>「レッドリストあいち 2025」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和 7 年 3 月）の掲載種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・CR：絶滅危惧ⅠA類 ・EN：絶滅危惧ⅠB類 ・VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：地域個体群

表 4-1-51(2) 動物の重要な種の選定基準

動物の重要な種の選定基準		
8	「愛知県立自然公園条例」（昭和43年3月29日愛知県条例第7号、最終改正：令和4年7月5日愛知県条例第41号）に基づく石巻山多米県立自然公園の特別地域で捕獲や採取等を規制する動植物	・○：愛知指定
9	「環境省海洋生物レッドリスト」（環境省、平成29年3月）の掲載種	<ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・CR：絶滅危惧ⅠA類 ・EN：絶滅危惧ⅠB類 ・VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群

① 哺乳類の重要な種

調査区域において確認記録のある哺乳類の重要な種は、ヤマコウモリ、ツキノワグマ等の6目9科15種で、表4-1-52に示すとおりです。

なお、哺乳類については調査区域では詳細な位置を特定できる文献情報は得られませんでした。

表4-1-52 文献により確認された哺乳類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	モグラ	モグラ	アズマモグラ								VU		
2			コウベモグラ								LP		
3	コウモリ	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ (ニホンコキクガシラコウモリ)							NT	NT		
4			キクガシラコウモリ							NT	NT		
5		ヒナコウモリ	ヤマコウモリ					VU	DD	CR			
6	ウサギ	ウサギ	ノウサギ								NT		
7	ネズミ	リス	ニホンリス						N-III	NT			
8			ムササビ						DD	EN			
9			ニッコウムササビ						NT	NT			
10		ネズミ	スミスネズミ							NT			
11			カヤネズミ						NT	VU			
12	ネコ	クマ	ツキノワグマ							CR			
13		イタチ	テン(ホンドテン)							NT			
14			アナグマ							NT			
15	ウシ	ウシ	カモシカ	特天									
計	6目	9種	15種	1種	0種	0種	0種	1種	7種	14種	0種	0種	

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省、令和6年)」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

② 鳥類の重要な種

調査区域において確認記録のある鳥類の重要な種は、マガン、オオタカ等の17目42科137種で、表4-1-53(1)～(3)に示すとおりです。

なお、鳥類については、調査区域では詳細な位置を特定できる文献情報は得られませんでした。

表4-1-53(1) 文献により確認された鳥類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準											
				1	2	3	4	5	6	7			8	9	
										越冬	繁殖	通過			
1	キジ	キジ	ウズラ					VU	VU	EN					
2			ヤマドリ						NT	NT	NT				
3	カモ	カモ	サカツラガン					DD							
4			ヒシクイ	天				VU							
5			オオヒシクイ					NT							
6			マガン					NT							
7			カリガネ					EN							
8			コクガン					VU		EN					
9			ツクシガモ					VU		VU					
10			アカツクシガモ					DD							
11			オシドリ					DD		NT	VU				
12			トモエガモ					VU	VU	VU					
13			アカハジロ					DD							
14			シノリガモ						NT	VU					
15			ピロードキンクロ							EN					
16			クロガモ							NT					
17			ミヨアイサ							NT					
18			カワアイサ								NT				
19			カイツブリ	アカエリカイツブリ								EN			
20					ミミカイツブリ								VU		
21			ミズナギドリ	アホウドリ	コアホウドリ					EN					
22		ミズナギドリ	シロハラミズナギドリ					DD							
23	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ					CR		NT					
24	カツオドリ	ウ	ヒメウ					EN		NT					
25	バリカン	サギ	サンカンゴイ					EN	EN			EN			
26			ヨシゴイ					NT	EN		CR	CR			
27			オオヨシゴイ					CR							
28			ミゾゴイ					VU	EN		VU	NT			
29			ゴイサギ						N-III	NT	NT				
30			ササゴイ						EN						
31			チュウサギ					NT		NT	NT				
32			クロサギ							EN					
33			カラシラサギ					NT					NT		
34	ツル	トキ	クロトキ					DD							
35			ヘラサギ					DD							
36			クロツラヘラサギ	国内				EN		VU					
37			ナベヅル					VU							
38	クイナ	クイナ	シマクイナ					EN							
39			クイナ						NT	NT					
40			ヒクイナ					NT	VU		VU	NT			
41			バン							NT	VU				
42	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ								VU	NT			
43			ツツドリ								VU	NT			
44			カッコウ								VU	NT			
45	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ					NT	VU		EN	VU			

表 4-1-53(2) 文献により確認された鳥類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準														
				1	2	3	4	5	6	7			8	9				
										越冬	繁殖	通過						
46	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ								NT	NT						
47	チドリ	チドリ	タゲリ							NT								
48			ケリ						DD									
49			イカルチドリ							NT	NT	VU						
50			シロチドリ							VU	VU	EN						
51			ミヤコドリ	ミヤコドリ								NT						
52			セイタカシギ	セイタカシギ							VU	NT	VU	NT				
53			シギ	シギ	ヤマシギ							DD	NT					
54					アオシギ									VU				
55					オオジシギ						NT	N-II		EX	VU			
56					オオハシシギ							N-II	EN					
57					シベリアオオハシシギ							DD				CR		
58					オグロシギ								VU			EN		
59					オオソリハシシギ							VU	VU			EN		
60					コシャクシギ								EN			VU		
61					ダイシャクシギ								VU	VU				
62					ホウロクシギ							VU	VU			EN		
63					ツルシギ							VU	EN			EN		
64					アカアシシギ								VU	VU			VU	
65					コアオアシシギ									VU				
66					カラフトアオアシシギ				国内				CR				CR	
67					タカブシギ								VU	VU			EN	
68					メリケンキアシシギ												EN	
69					オバシギ												VU	
70					コオバシギ												VU	
71					ミュビシギ									NT	VU			
72					オジロトウネン									VU			VU	
73					ヒバリシギ									VU			CR	
74					ウズラシギ									VU			EN	
75					ハマシギ							NT	VU	VU				
76					ヘラシギ				国内				CR	CR			CR	
77	キリアイ											VU			EN			
78	エリマキシギ														CR			
79	タマシギ	タマシギ									VU	VU	EN	EN				
80	ツバメチドリ	ツバメチドリ									VU			CR	EN			
81	カモメ	カモメ	ズグロカモメ							VU		VU						
82			オオセグロカモメ							NT								
83			オオアジサシ								VU				NT			
84			コアジサシ								VU	EN		EN	VU			
85			ベニアジサシ								VU							
86	ウミスズメ	ウミスズメ	ウミガラス							CR								
87			ケイマフリ							VU								
88			マダラウミスズメ								DD							
89			ウミスズメ								CR							
90			カンムリウミスズメ				天					VU	CR					
91	タカ	ミサゴ	ミサゴ							NT	N-III		VU					
92	タカ	タカ	ハチクマ							NT	VU		VU					
93			オジロワシ		天	国内					VU	EN						
94			オオワシ		天	国内					VU	N-II						
95			チュウヒ				国内				EN	EN	VU	CR				
96			ハイロチュウヒ									N-II	VU					
97			ツミ											NT				
98			ハイタカ								NT	VU	NT					
99			オオタカ								NT	NT	VU	VU				
100			サシバ								VU	VU		EN	NT 渡り群 :LP			
101			クマタカ				国内				EN	VU	EN	EN				

表 4-1-53(3) 文献により確認された鳥類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準											
				1	2	3	4	5	6	7			8	9	
										越冬	繁殖	通過			
102	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク						DD	NT	VU				
103			コノハズク				県指		EN		CR	VU			
104			フクロウ						NT	NT	NT				
105			アオバズク							VU		EN	VU		
106			トラフズク							DD	EN				
107			コミミズク							EN	VU				
108			ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン						VU		VU	NT	
109	ヤマセミ								EN	CR	CR				
110	ブッポウソウ	ブッポウソウ						EN	CR		CR	VU			
111	キツツキ	キツツキ	アリスイ						NT						
112			オオアカゲラ						NT	NT	VU				
113	ハヤブサ	ハヤブサ	コチョウゲンボウ						N-III						
114			ハヤブサ		国内				VU	VU	NT	VU			
115	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ						VU	EN					
116		カササギヒタキ	サンコウチョウ							NT					
117		モズ	アカモズ						EN				CR		
118		ツバメ	コシアカツバメ							VU					
119		ムシクイ	オオムシクイ							DD					
120		メジロ	メグロ							EX					
121		センニュウ	オオセッカ		国内					EN	EN	EN			
122		ヨシキリ	ヨシキリ									EX	CR		
123		キバシリ	キバシリ								VU	EN			
124		ミソサザイ	ミソサザイ								NT	VU			
125		カワガラス	カワガラス								VU	VU			
126		ヒタキ	マミジロ							VU		EX	EN		
127			クロツグミ									CR	NT		
128			アカハラ									EX			
129			コマドリ									EX	EN		
130			コルリ									VU	NT		
131			ノビタキ								N-II				
132	コサメビタキ									VU		NT	NT		
133	セキレイ		ピンズイ								VU	EX			
134	ホオジロ	ホオアカ								NT	EX				
135		ミヤマホオジロ							NT						
136		シヤマアオジ							CR						
137		コジュリン							VU	VU	EN				
計	17目	42科	137種	4種	9種	0種	1種	71種	69種	53種	50種	56種	0種	0種	

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト（国土交通省、令和6年）」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

③ 両生類の重要な種

調査区域において確認記録のある両生類の重要な種は、ヤマトサンショウウオ、ナゴヤダルマガエル等の2目4科10種で、表4-1-54に示すとおりです。

なお、文献調査により確認された両生類の詳細な位置は、後掲の図4-1-25に示すとおりです。

表4-1-54 文献により確認された両生類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準										
				1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	有尾	サンショウウオ	トウキョウサンショウウオ					VU						
2			ヤマトサンショウウオ					VU		EN				
3			アカハライモリ				県指	NT	NT	※CR、NT				
4	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル						N-III					
5			アマガエル						N-III					
6			アカガエル	ナガレタゴガエル				県指		DD	CR			
7				ニホンアカガエル						VU				
8				トノサマガエル					NT	NT				
9				ナゴヤダルマガエル					EN	CR	VU			
10				ツチガエル						NT				
計	2目	4科	10種	0種	0種	0種	2種	5種	8種	4種	0種	0種		

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省、令和6年)」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

注3) アカハライモリ→渥美種族：CR、中間種族：NTに該当。

④ 爬虫類の重要な種

調査区域において確認記録のある爬虫類の重要な種は、アカウミガメ、クサガメ、ニホンスッポン等の2目7科9種で、表4-1-55に示すとおりです。

なお、爬虫類については、調査区域では詳細な位置を特定できる文献情報は得られませんでした。

表4-1-55 文献により確認された爬虫類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	カメ	ウミガメ	アカウミガメ				県指	NT	NT	EN			
2		イシガメ	ニホンイシガメ					NT	NT	NT			
3			クサガメ						N-III				
4		スッポン	ニホンスッポン					DD	DD	DD			
5	有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ						N-III				
6		トカゲ	ヒガシニホントカゲ						N-II				
7		タカチホヘビ	タカチホヘビ							DD			
8		ナミヘビ	シロマダラ							DD	DD		
9			ヤマカガシ								DD		
計	2目	7科	9種	0種	0種	0種	1種	3種	7種	6種	0種	0種	

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省、令和6年)」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

⑤ 魚類の重要な種

調査区域において確認記録のある魚類の重要な種は、アブラボテ、ドンコ等の10目21科48種で、表4-1-56(1)～(2)に示すとおりです。

なお、魚類については、調査区域では詳細な位置を特定できる文献情報は得られませんでした。

表4-1-56(1) 文献により確認された魚類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類					VU	EN	EN			
2	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ					EN	EN	EN			
3	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ					EN					
4			ヤリタナゴ			県指		NT	CR	CR			
5			アブラボテ					NT	DD	DD			
6			イチモンジタナゴ					CR		DD			
7			シロヒレタビラ					EN		DD			
8			カワバタモロコ			国内	県指		EN	CR	EN		
9			カワムツ							N-II			
10			ウシモツゴ					県指	CR		CR		
11			カワヒガイ						NT		CR		
12			タモロコ							N-II			
13			イトモロコ								NT		
14			スゴモロコ						VU				
15			ドジョウ	ドジョウ	ドジョウ					NT	DD	VU	
16					ニシシマドジョウ						N-II	VU	
17	トウカイコガタスジシマドジョウ							EN	EN	EN			
18	フクドジョウ	フクドジョウ					EN	EN	EN				
19	ナマズ	ギギ	ネコギギ					EN		CR			
20		アカザ	アカザ					VU	EN	NT			
21	サケ	シラウオ	シラウオ							VU			
22		サケ	サツキマス(アマゴ)					NT	VU	DD			
23	トゲウオ	クダヤガラ	クダヤガラ								NT		
24		ヨウジウオ	ガンテンイシヨウジ						N-III				
25	ダツ	メダカ	ミナミメダカ					VU	VU	VU			
26		サヨリ	クルマサヨリ					NT	DD	DD			
27	スズキ	メバル	タケノコメバル								NT		
28	カジカ	カジカ	カマキリ						VU	EN			
29			カジカ						NT	EN			
30			ウツセミカジカ(降海回遊型)							VU	VU		
31	ダンゴウオ	ホテイウオ									DD		
32	ドンコ	ドンコ								EN			
33	カワアナゴ	カワアナゴ							N-III	NT			
34	ハゼ	ハゼ	ヒモハゼ					NT	VU	VU			
35			シロウオ						VU	CR			
36			チワラスボ						EN		DD		
37			トビハゼ						NT	CR	VU		
38			アカハゼ									NT	
39			ボウズハゼ								VU		
40			マサゴハゼ							VU	VU		

表 4-1-56(2) 文献により確認された魚類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9
41	スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ						N-II			
42			オオヨシノボリ							NT		
43			ビリンゴ						N-II			
44			キセルハゼ					EN		CR		
45			エドハゼ					VU	NT	NT		
46			コモチジャコ									NT
47	カレイ	カレイ	ホシガレイ								NT	
48	フグ	フグ	マフグ								NT	
計	10目	21科	48種	0種	1種	2種	1種	26種	26種	33種	0種	7種

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト（国土交通省、令和6年）」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

⑥ 底生動物の重要な種

調査区域において確認記録のある底生動物の重要な種は、マルタニシ、マツカサガイ等の8目33科65種で表4-1-57(1)～(2)に示すとおりです。

なお、文献調査により確認された底生生物の詳細な位置は、後掲の図4-1-25に示すとおりです。

表4-1-57(1) 文献により確認された底生動物の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	古腹足	ニシキウズガイ	イボキサゴ					NT		EN			
2	アマオブネガイ	アマオブネガイ	ヒロクチカノコガイ					NT		VU			
3			ウミヒメカノコガイ					VU					
4	タニシ	タニシ	マルタニシ					VU	NT	NT			
5			オオタニシ					NT	NT				
6	ウミニナ	ウミニナ	ウミニナ					NT		NT			
7			イボウミニナ					VU		EN			
8	トゲカワニナ	トゲカワニナ	タケノコカワニナ					VU	CR	EX			
9	カワニナ	カワニナ	クロダカワニナ					NT	NT	NT			
10	キバウミニナ	キバウミニナ	フトヘナタリガイ					NT		NT			
11			ヘナタリガイ					NT		NT			
12	タマキビ	タマキビ	モロハタマキビ							NT			
13	ワカウラツボ	ワカウラツボ	カワグチツボ					NT		NT			
14	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウガイ					NT		NT			
15			ツブカワザンショウガイ					NT		NT			
16			ヒナタムシヤドリカワザンショウガイ					NT	NT	NT			
17			ヨシダカワザンショウガイ					NT	NT	VU			
18			ホラアナゴマオカチグサガイ					CR+EN	NT	EN※注4			
19	エゾマメタニシ	エゾマメタニシ	マメタニシ					CR	EN	CR			
20	ミズゴマツボ	ミズゴマツボ	エドガワミズゴマツボ					NT		NT			
21			ミズゴマツボ					VU		VU			
22	トウカムリ	トウカムリ	カズラガイ							NT			
23	頭楯	カノコキセワタ	ヤミヨキセワタ					VU		DD※注5			
24	汎有肺	トウガタガイ	カキウラクチキレモドキ							NT			
25			ヒガタヨコイトカケギリ					DD		NT			
26	オカミミガイ	オカミミガイ	ナラビオカミミガイ					VU		CR			
27			オカミミガイ					VU		EN			
28			ハマシイノミガイ								DD		
29			キヌカツギハマシイノミガイ					VU		CR			
30			ナギサノシタタリガイ								VU		
31	モノアラガイ	モノアラガイ	イグチモノアラガイ					DD					
32			モノアラガイ					NT	NT	DD			
33	ヒラマキガイ	ヒラマキガイ	カワネジガイ					CR		EX			
34			ヒダリマキモノアラガイ				CR+EN	CR	EX				
35			ヒラマキミズマイマイ					DD	NT	NT			
36			ミズコハクガイ					VU	VU	VU			
37			ヒラマキガイモドキ					NT	NT	NT			

表 4-1-57(2) 文献により確認された底生動物の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準										
				1	2	3	4	5	6	7	8	9		
38	イシガイ	イシガイ	フネドブガイ								DD			
39			ササノハガイ					VU			CR			
40			イシガイ						NT		CR			
41			カタハガイ					VU			CR			
42			マツカサガイ					NT	CR		CR			
43			ドブガイ (ヌマガイorタガイ)									DD		
44			ヤハズヌマガイ (注3)											
45			マルスダレガイ	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ					NT				
46	シジミ	ヤマトシジミ						NT	NT					
47	マシジミ						VU	NT		DD				
48	マルスダレガイ	ハマグリ						VU		NT				
49	フジノハナガイ	フジノハナガイ						NT		NT				
50	ニッコウガイ	サビシラトリガイ						NT		EN				
51		ユウシオガイ						NT		NT				
52		サギガイ						NT		VU				
53	シオサザナミ	オチバガイ								VU				
54	バカガイ	オオトリガイ						NT		DD				
55	チドリマスオ	クチバガイ						NT						
56	マテガイ	オオマテガイ									DD			
57		マテガイ									NT			
58	異靱帯	オキナガイ		オヤイツオキナガイ					VU		VU			
59				コオキナガイ					CR+EN		CR			
60			ソトオリガイ							NT				
61	オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ					NT		NT				
62		クチベニガイ	ヌマコダキガイ					CR+EN						
63		ニオガイ	ウミタケ					VU		CR				
64		ベンケイガニ	クシテガニ										NT	
65			ベンケイガニ										NT	
計	8目	33科	65種	0種	0種	0種	0種	50種	17種	55種	0種	2種		

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省、令和6年)」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

注3) ヤハズヌマガイは、本事業の計画段階環境配慮書についての豊橋市長意見において希少な種として言及され、川瀬らによる論文等においてもその希少性が確認されたことから、本書では重要な動物として取り扱う。

注4) ホラアナゴマオカチグサガイ近似種として選定

注5) ヤミヨキセワタ類として選定

⑦ 昆虫類の重要な種

調査区域において確認記録のある昆虫類の重要な種は、コバネアオイトトンボ、ベッコウトンボ、シャープゲンゴロウモドキ等の9目54科139種で、表4-1-58(1)～(3)に示すとおりです。

なお、文献調査により確認された昆虫類の詳細な位置は、後掲の図4-1-25に示すとおりです。

表4-1-58(1) 文献により確認された昆虫類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	トンボ	アオイトトンボ	ホソミオツネイトンボ						NT			
2			コバネアオイトトンボ					EN	CR	CR		
3			オツネイトンボ						NT			
4		イトトンボ	ベニイトトンボ					NT	CR	VU		
5			モートンイトトンボ					NT	VU	VU		
6			オオイトトンボ						CR	EN		
7		カワトンボ	アオハダトンボ					NT	NT			
8			ニホンカワトンボ						EN			
9		ヤンマ	ネアカヨシヤンマ					NT	NT	NT		
10			アオヤンマ					NT	VU	CR		
11			カトリヤンマ						NT			
12		サナエトンボ	キイロサナエ					NT	EN	VU		
13			ホンサナエ						VU			
14			タバサナエ					NT	VU			
15			フタスジサナエ					NT	EN	VU		
16			オグマサナエ					NT		EN		
17		エゾトンボ	トラフトンボ						EN	VU		
18			キイロヤマトンボ					NT	CR	NT		
19			ハネビロエゾトンボ					VU	VU	EN		
20			エゾトンボ						CR	CR		
21		トンボ	ベッコウトンボ		国内			CR	CR	CR		
22			ヨツボシトンボ						NT			
23			ハッチョウトンボ						EN			
24			キトンボ						CR	EN		
25			ノシメトンボ							NT		
26			マイコアカネ						NT	NT		
27			ミヤマアカネ							NT		
28			オオキトンボ						EN	CR	CR	
29	ゴキブリ		オオゴキブリ							NT		
30	カマキリ		カマキリ							NT		
31	バッタ	クツワムシ	タイワンクツワムシ						NT			
32		マツムシ	クチキコオロギ									
33		コオロギ	クチナガコオロギ						NT			
34		ヒバリモドキ	ハマスズ						NT	EN		
35		バッタ	ヤマトマダラバッタ						NT	NT		
36		イナゴ	ハネナガイナゴ						N-III			
37		ナナフシ	ナナフシ	エダナナフシ						DD		
38	カメムシ	ハナカメムシ	ズイムシハナカメムシ					NT				
39		キンカメムシ	ニシキキンカメムシ							DD		
40	アメンボ	オオアメンボ							NT			
41		エサキアメンボ						NT	N-III	NT		
42		ババアメンボ							NT	DD	VU	

表 4-1-58(2) 文献により確認された昆虫類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	
43	カメムシ	ミズムシ(昆)	ホックミズムシ					NT	VU	NT			
44		コオイムシ	コオイムシ					NT	N-III				
45			タガメ		国内			VU	N-III	EN			
46		タイコウチ	タイコウチ								NT		
47			ヒメタイコウチ						DD	NT			
48			ミズカマキリ								NT		
49		ナベブタムシ	トゲナベブタムシ					VU		EX			
50		チョウ	ボクトウガ	ハイロボクトウ					NT				
51			セセリチョウ	ホソバセセリ								VU	
52	ギンイチモンジセセリ							NT	N-H	NT			
53	ミヤマチャバネセセリ										EN		
54	オオチャバネセセリ									N-H			
55	シジミチョウ		オオミドリシジミ								NT		
56			ウラナミアカシジミ						VU				
57			クロシジミ					EN	VU	CR			
58			ヒメシジミ本州・九州亜種					NT	EN	CR			
59	タテハチョウ		コムラサキ							N-H			
60			ウラギンスジヒョウモン					VU	NT	VU			
61			オオウラギンスジヒョウモン							NT			
62			ヒメヒカゲ本州中部亜種			県指	県指	CR	CR	EN			
63			ウラジャノメ本州亜種						NT	EN			
64			ヒメジャノメ							N-III			
65			サトキマダラヒカゲ							N-III			
66			クモガタヒョウモン							NT			
67			ホシミスジ東北・中部地方亜種							NT			
68			オオムラサキ						NT	N-III	NT		
69		ウラナミジャノメ本土亜種						VU	EN	VU			
70		アゲハチョウ	ギフチョウ					VU	VU	VU			
71		シロチョウ	ツマゴロキチョウ					EN		NT			
72	スジボソヤマキチョウ								CR				
73	ツトガ	ゴマフツトガ					NT						
74	ヤママユガ	オナガミズアオ本土亜種					NT						
75	ヒトリガ	シロホソバ					NT						
76	ヤガ	ガマヨトウ					VU	NT					
77		キスジウスキヨトウ					VU		NT				
78		シラユキコヤガ					VU		NT				
79		キシタアツバ					NT						
80		オオチャバネヨトウ					VU	EN	NT				
81		コウチュウ	オサムシ	ツツイキバナガミズギワゴミムシ					NT		EN		
82	コハンミョウモドキ							EN		EX			
83	ジャアナヒラタゴミムシ							VU		EN			
84	ホラズミヒラタゴミムシ									NT			
85	キベリマルクビゴミムシ							EN		EX			
86	フタモンマルクビゴミムシ							EN		EX			
87	エチゴトックリゴミムシ							NT		EX			
88	オオトックリゴミムシ							NT		NT			
89	イグチケブカゴミムシ							NT					

表 4-1-58 (3) 文献により確認された昆虫類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	
90	コウチュウ	オサムシ	ハマベゴミムシ					NT		VU			
91			ハバメクラチビゴミムシ							EN			
92		ハンミョウ	カワラハンミョウ					EN	VU	EX			
93			アイヌハンミョウ					NT	N-III	VU			
94		ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ					NT	NT	VU			
95			ゲンゴロウ					VU	EN	CR			
96			ユガタノゲンゴロウ					VU	CR	EX			
97			シャープゲンゴロウモドキ		国内				CR		EX		
98			マルガタゲンゴロウ						VU	N-I	EX		
99			シマゲンゴロウ						NT	N-III	CR		
100			スジゲンゴロウ						EX	EX	EX		
101			マダラシマゲンゴロウ		国内				CR		EX		
102			マルケシゲンゴロウ						NT				
103			ルイスツブゲンゴロウ						VU	VU			
104			シャープツブゲンゴロウ						NT				
105			キベリマメゲンゴロウ						NT	N-III			
106			ミズスマシ	ミズスマシ					VU	VU	CR		
107				コオナガミズスマシ					VU		NT		
108			コガシラミズムシ	キイロコガシラミズムシ					VU		EN		
109		マダラコガシラミズムシ						VU	DD	NT			
110		コツブゲンゴロウ	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ					VU	N-III	NT			
111		カワラゴミムシ	カワラゴミムシ							VU			
112		ガムシ	スジヒラタガムシ					NT	N-III				
113			コガムシ					DD	NT				
114			ガムシ					NT	NT	CR			
115			シジミガムシ					EN					
116		エンマムシ	エンマムシ							DD			
117		シデムシ	ヤマトモンシデムシ					NT	N-I	CR			
118		クワガタムシ	オオクワガタ					VU		CR			
119		コガネムシ	ヤマトアオドウガネ								NT		
120			アカマダラハナムグリ					DD	N-III	NT			
121			ヨツボシマグソコガネ								NT		
122			ヤマトケシマグソコガネ								NT		
123			マルエンマコガネ								EX		
124			ヒゲコガネ							NT			
125			クロカナブン								NT		
126			ヒメドロムシ	ヨロミゾドロムシ					VU		NT		
127		タマムシ	クロマダラタマムシ							VU			
128		コメツキムシ	サトヤマシモフリコメツキ								NT		
129	ジュウジミズギワコメツキ									NT			
130	アカアシコハナコメツキ									NT			
131	ホタル	ヘイケボタル							N-III	DD			
132	ゴミムシダマシ	ヤマトオサムシダマシ					NT	NT					
133	カミキリムシ	ヒラヤマコブハナカミキリ								NT			
134		クビアカハナカミキリ								VU			
135		ヨツボシカミキリ						EN	VU	EN			
136	ハムシ	カツラネクイハムシ								VU			
137		ツヤネクイハムシ							DD				
138	ゾウムシ	ハマベゾウムシ							NT	NT			
139	ハチ	ハキリバチ	キヌゲハキリバチ							NT	NT		
計	9目	54科	139種	0種	4種	1種	1種	77種	77種	101種	0種	0種	

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト（国土交通省、令和6年）」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

⑧ その他の動物

(a) 陸産貝類の重要な種

調査区域において確認記録のある陸産貝類の重要な種は、ベニゴマオカタニシ、オモイガケナマイマイ等の4目14科46種で、表4-1-59(1)～(2)に示すとおりです。

なお、文献調査により確認された陸産貝類の詳細な位置は、後掲の図4-1-25に示すとおりです。

表4-1-59(1) 文献により確認された陸産貝類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	オキナエビス	ゴマオカタニシ	ゴマオカタニシ					NT		NT			
2			ベニゴマオカタニシ					VU	NT	VU			
3		ヤマキサゴ	ヤマキサゴ							VU			
4	ニナ	ヤマタニシ	トウカイヤマトガイ					VU	DD	VU			
5			サドヤマトガイ					NT		DD			
6		ムシオイガイ	ムシオイガイ							NT			
7	オカミガイ	ケシガイ	ケシガイ					NT		DD			
8	マイマイ	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ					NT	NT	NT			
9		キバサナギガイ	クチマガリスナガイ					VU	NT				
10			スナガイ					NT		VU			
11			ナタネキバサナギガイ					VU	NT				
12		マキノメガイ	ヒラドマルナタネガイ							NT			
13		キセルガイモドキ	キセルガイモドキ							NT			
14			フトキセルガイモドキ							DD			
15		キセルガイ	オオギセル					NT					
16			トノサマガセル					NT		VU			
17			ホソヤカギセル					NT		NT			
18			ハチノコギセル					NT		NT			
19			ツメギセル					NT					
20			チュウゼンジギセル					NT					
21			クビナガギセル					VU		VU			
22			キイツムガタギセル					NT					
23			トカラコギセル						CR+EN		CR		
24			ヒロクチコギセル						CR+EN		CR		
25			エルバリギセル						DD				
26			ミカワギセル						NT		NT		
27			ナメクジ	イボイボナメクジ					NT	DD	NT		
28	ベッコウマイマイ			ヒラベッコウ					DD		VU		
29		キヌツヤベッコウ						DD					
30		ヒメハリマキビ						NT		NT			
31		スジキビ						NT	NT	NT			
32		カサネシタラガイ						NT	NT	NT			
33		ウメムラシタラガイ						NT		NT			
34		オオウエキビ						DD					
35		イセキビ						DD					
36		キイキビ						DD					
37		タカキビ						NT		NT			
38		ヒメカサキビ						NT		NT			

表 4-1-59(2) 文献により確認された陸産貝類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9
39	マイマイ	ナンバンマイマイ	ビロウドマイマイ					DD		NT		
40			ヒメビロウドマイマイ					VU				
41			キヌビロウドマイマイ					NT				
42		オナジマイマイ	イシマキシロマイマイ					VU	NT	VU		
43			ヒルゲンドルフマイマイ					NT		NT		
44			オモイガケナマイマイ		国内		県指	CR+EN	CR	CR		
45			ミカワマイマイ					CR+EN	EN	CR		
46			ミヤマヒダリマキマイマイ					VU	NT	VU		
計			4目	14科	46種	0種	1種	0種	1種	41種	12種	33種

注1) 種名及び配列は主に「日本陸産貝類総目録（日本陸産貝類総目録刊行会，昭和63年）」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

(b) クモ類の重要な種

調査区域において確認記録のあるクモ類の重要な種は、カネコトタテグモ、ミカワホラヒメグモ等の1目8科19種で、表4-1-60に示すとおりです。

なお、クモ類については、調査区域では詳細な位置を特定できる文献情報は得られませんでした。

表 4-1-60 文献により確認されたクモ類の重要な種

No.	目名	科名	種名	重要な種選定基準										
				1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	クモ	カネコトタテグモ	カネコトタテグモ					NT	NT	VU				
2		トタテグモ	キノボリトタテグモ					NT	NT	VU				
3			キシノウエトタテグモ					NT	NT	VU				
4		ユウレイグモ	アケボノユウレイグモ						N-II	EN				
5		ホラヒメグモ	ミカワホラヒメグモ				県指			CR				
6		コガネグモ	オニグモ							NT				
7			コガネグモ							NT	NT			
8			トリノフンダマシ								NT			
9			オオトリノフンダマシ								NT			
10			シロオビトリノフンダマシ								NT			
11			アカイロトリノフンダマシ								NT			
12			トゲグモ								VU			
13			グホウグモ									NT		
14			コモリグモ	シッチコモリグモ								EN		
15				イサゴコモリグモ								EN		
16		カコウコモリグモ									VU			
17		ミナミコモリグモ										NT		
18		ネコグモ	オビジガバチグモ								NT			
19		カニグモ	オビボソカニグモ								VU			
計	1目	8科	19種	0種	0種	0種	1種	3種	6種	18種	0種	0種		

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト（国土交通省、令和6年）」に準拠した。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-51に示すとおりである。

⑨ 注目すべき生息地の状況

調査区域における注目すべき生息地としては、環境省が選定している「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」（重要湿地）として、「三河湾」、「東三河・渥美半島湧水湿地群」、「遠州灘海岸」があります。また、環境省が選定している「生物多様性上重要な里地里山」（重要里地里山）として、「石巻山周辺」があります。

重要湿地及び重要里地里山の詳細は、後述の社会的状況の章（環境の保全を目的として法令等により指定された地域の状況）に示すとおりです。

注目すべき生息地の状況の位置図は、図 4-1-25 に示すとおりです。

表 4-1-61 注目すべき生息地

No	生息域	生物分類群	選定基準・理由	選定基準
1	三河湾（汐川干潟）	シギ・チドリ類	春秋の渡り期の種数・個体数が多い。ミュビシギ、シロチドリなどの渡来地。	2, 3, 4
		底生動物	豊富な底生動物相。オオノガイ、ヤミヨキセワタ、イボウミニナ、ヒロクチカノコ、ヒナユキスズメ、キヌカツギハマシイノミ、オカミミガイ、ワカウラツボ、ウモレベンケイガニなどの生息地。	3, 4
2	東三河・渥美半島湧水湿地群（東三河湧水湿地群）	湿原植生	【天伯湿地、長三池のナガバノイシモチソウ自生地、黄柳野湿地、椈のシデコブシ自生地、伊川津シデコブシ自生地、黒河湿地、藤七原湿地など】シデコブシが多く生育する湿地が多く存在するほか、ナガバノイシモチソウなどの希少種が多くみられる。	1, 2
3	東三河・渥美半島湧水湿地群（葦毛湿原）	湿原植生	多様な植物群落によって構成され、その中には固有種も多く見られる。	1, 2
		昆虫類	ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチ、ヒメヒカゲなどの生息地。	2, 3
4	遠州灘海岸（遠州灘海岸の沖）	ウミガメ	渥美半島から御前崎周辺までの遠州灘海岸は本州最大のアカウミガメの産卵地。御前崎港などの港湾や導流堤の整備で砂浜環境は大きな影響を受けているが、産卵は行われている。日本では最も距離の長い砂浜海岸。	1, 5
5	石巻山周辺	—	市の北部に位置し、古くから信仰の対象とされてきた石巻山周辺から平田、岩本等の周辺集落までを含む地域である。 山頂付近の石灰岩地形では特有の植物・動物が多く見られ、周辺ではエナガやキビタキ、ヒメボタルなど里地里山に特徴的な種が生息している。また、石巻山南麓の三ツ口池周辺では、豊かな里地里山生態系のシンボルであるオオタカの生息も確認されている。	a, b, c

注1) 選定基準は以下のとおりである。

1. 湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・砂浜・マングローブ湿地、藻場、さんご礁等の生態系のうち、生物の生育・生息地として典型的又は相当の規模の面積を有している場合
2. 希少種、固有種等が生育・生息している場合
3. 多様な生物相を有している場合（ただし、外来種を除く）
4. 特定の種の個体群のうち、相当な割合の個体数が生育・生息する場合
5. 生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、繁殖場等）である場合
 - a. 多様で優れた二次的自然環境を有する
 - b. 里地里山に特有で多様な野生動植物が生息・生育する
 - c. 生態系ネットワークの形成に寄与する

出典：「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」（環境省ホームページ）

「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省ホームページ）

(3) 植物の生育及び植生の状況

1) 植物相の状況

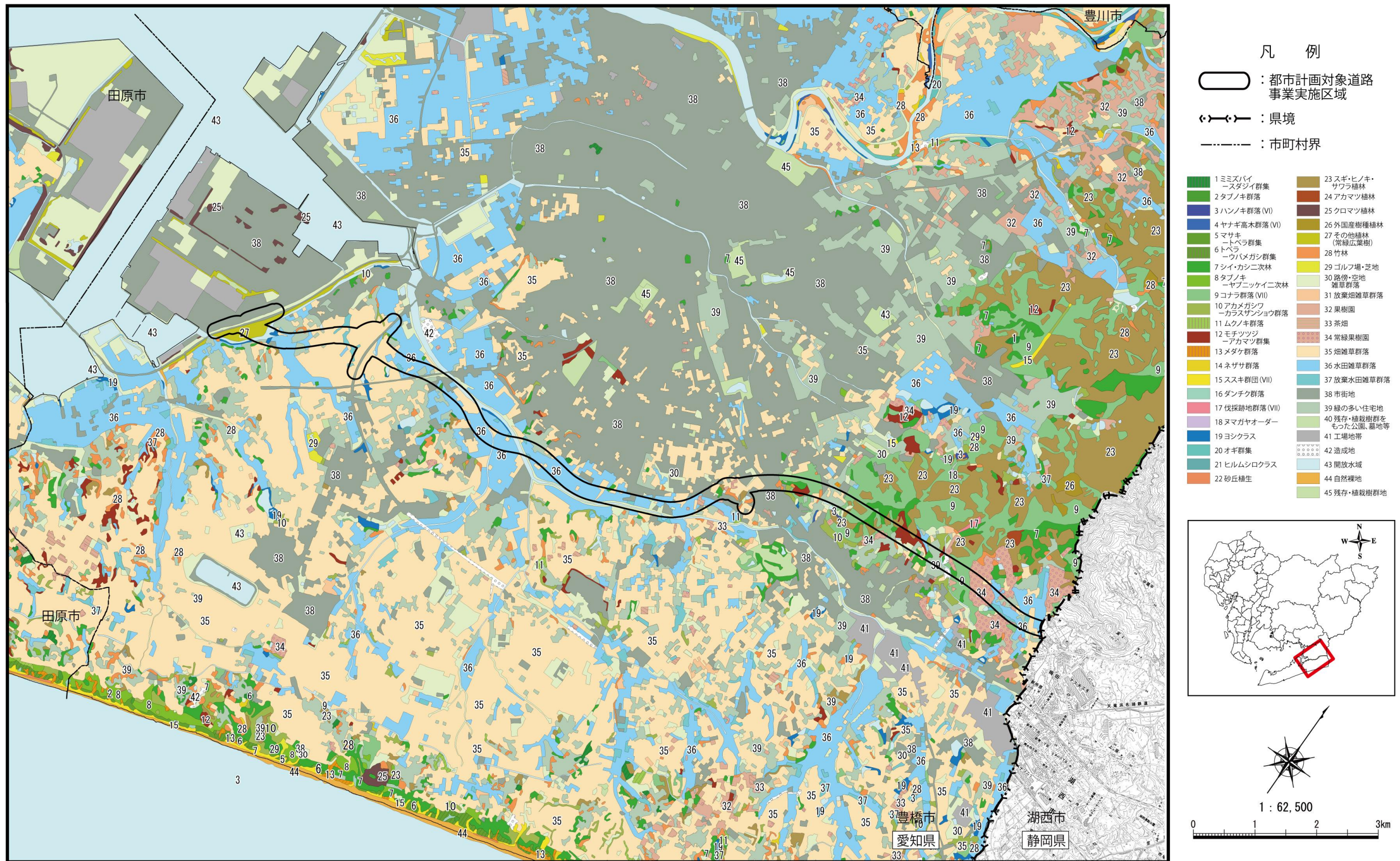
既存資料において、調査区域での確認記録がある植物は、デンジソウ、イッスンテンツキ等の195科2,412種です。

なお、植物の生育状況の把握に用いた既存文献・資料は、表4-1-50(1)～(2)に示すとおりです。

2) 植生の状況

環境省が実施した「第6回自然環境保全基礎調査」及び「第7回自然環境保全基礎調査」に基づく植生図を図4-1-26に示します。

事業実施区域及びその周囲には、主に水田雑草群落が広がり、北側の平地部には市街地、南側は畑雑草群落が分布し、弓張山地周辺のやや標高が高い地域ではスギ・ヒノキ・サワラ植林やコナラ群落等(VII)、シイ・カシ二次林等が分布しています。



出典：「第6回自然環境保全基礎調査植生調査」「第7回自然環境保全基礎調査植生調査」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）

図 4-1-26 植生図

3) 植物の重要な種

植物の重要な種の選定基準は表 4-1-62(1)～(2)に示すとおりです。

調査区域において確認記録のある植物の重要な種は、デンジソウ、イッスンテンツキ等の 110 科 379 種で、表 4-1-63(1)～(9)に示すとおりです。

表 4-1-62(1) 植物の重要な種の選定基準

植物の重要な種の選定基準	
1	<p>「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別天然記念物（特天） ・天然記念物（天）
2	<p>「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号、最終改正：令和元年 6 月 14 日法律第 37 号）及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令」（平成 5 年 政令第 17 号、最終改正：令和 2 年 12 月 16 日政令第 352 号）に基づく国内希少野生動植物種等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内希少野生動植物種（国内） ・緊急指定種（緊急）
3	<p>「静岡県希少野生動植物保護条例」（平成 23 年 4 月 1 日静岡県条例第 37 号）に基づく指定希少野生動植物種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定種（県指）
4	<p>「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（昭和 48 年 3 月 30 日愛知県条例第 3 号、最終改正：平成 22 年 3 月 26 日愛知県条例第 12 号）に基づく指定希少野生動植物種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定種（県指）
5	<p>「第 5 次レッドリスト（植物・菌類）」（環境省、令和 7 年 3 月）の掲載種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧 I 類 ・CR：絶滅危惧 I A 類 ・EN：絶滅危惧 I B 類 ・VU：絶滅危惧 II 類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群
6	<p>「まもりたい静岡県の野生生物 2020-静岡県静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>-」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和 2 年 3 月）の掲載種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧 I 類 ・CR：絶滅危惧 I A 類 ・EN：絶滅危惧 I B 類 ・VU：絶滅危惧 II 類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：地域個体群 <p>要注目種：（静岡県独自のカテゴリー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N-I：現状不明 ・N-II：分布上注目種等 ・N-III：部会注目種

表 4-1-62(2) 植物の重要な種の選定基準

植物の重要な種の選定基準		
7	「レッドリストあいち 2025」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和7年3月）の掲載種	<ul style="list-style-type: none"> ・ EX：絶滅 ・ EW：野生絶滅 ・ CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・ CR：絶滅危惧ⅠA類 ・ EN：絶滅危惧ⅠB類 ・ VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・ NT：準絶滅危惧 ・ DD：情報不足 ・ LP：地域個体群
8	「愛知県立自然公園条例」（昭和43年3月29日愛知県条例第7号、最終改正：令和4年7月5日愛知県条例第41号）に基づく石巻山多米県立自然公園の特別地域で捕獲や採取等を規制する動植物	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○：愛知指定

表 4-1-63(1) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
1	ヒカゲノカズラ	アスヒカズラ						N-III	VU	
2	イワヒバ	イヌカタヒバ					VU			
3	ミズニラ	ミズニラ					NT	VU	NT	
4	ハナヤスリ	シチトウハナワラビ							CR	
5		ヒロハハナヤスリ							VU	
6	マツバラシ	マツバラシ					NT	VU	VU	○
7	コケシノブ	コケホラゴケ					NT		VU	
8	デンジソウ	デンジソウ					NT	CR	CR	
9	サンショウモ	オオアカウキクサ					EN	VU	CR	
10		アカウキクサ					EN	VU	CR	
11		サンショウモ					NT	VU	EN	
12	ホングウシダ	ハマホラシノブ							NT	
13	コバノイシカグマ	フモトカグマ							EN	
14		イシカグマ							NT	
15		オオブジシダ								○
16	イノモトソウ	タキミシダ					VU	VU	EN	
17		ヤツガタケシノブ					NT	N- I		
18		マツサカシダ							EN	
19		ハチジョウシダモドキ						VU		
20		ナチシダ								○
21	ナヨシダ	エビラシダ							CR	
22	チャセンシダ	カミガモシダ						EN	EN	
23		ヒノキシダ						VU	EN	
24		クモノスシダ								○
25		コタニワタリ						N-III	EN	
26		アオガネシダ								○
27	ヒメシダ	ツクシヤワラシダ							VU	
28		テツホシダ						N-III	EX	
29		メニッコウシダ						N-III		
30	メシダ	ウスバシケシダ					VU		VU	
31		アサマシケシダ							VU	
32		ニセコクモウクジャク						VU	VU	
33		シマシロヤマシダ							EN	
34		テリハシロヤマシダ							VU	
35		コクモウクジャク							VU	
36	オシダ	ツクシイワヘゴ						N-III	NT	
37		タカサゴシダ					NT	N- II	EN	
38		ヌカイタチシダモドキ						N-III		
39		ワカナシダ							EN	
40		アツギノヌカイタチシダマガイ						VU		
41		オワセベニシダ							VU	
42		タニヘゴ						VU		
43		ナンカイイタチシダ							NT	
44		オリヅルシダ							EX	
45	シノブ	シノブ								○

表 4-1-63(2) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準								
			1	2	3	4	5	6	7	8	
46	ウラボシ	ヌカボシクリハラン								EN	
47		クラガリシダ					EN	EN	EN		
48		イワヒトデ									○
49	ヒノキ	ハイネズ								VU	
50	スイレン	ヒメコウホネ					CR	DD	CR		
51		ヒツジグサ						EN			
52	ウマノスズクサ	オオバウマノスズクサ								VU	
53		ヒメカンアオイ									○
54		イワタカンアオイ					EN	VU	EN		
55	モクレン	シデコブシ					NT		VU		
56	クスノキ	ニッケイ					NT				
57		シロモジ						VU			
58	サトイモ	キシダマムシグサ								VU	
59		オオマムシグサ								EN	
60	チシマゼキショウ	イワショウブ								VU	
61	オモダカ	アギナシ					NT	VU			
62	トチカガミ	スブタ					VU	VU	CR		
63		ヤナギスブタ								NT	
64		トチカガミ					NT	VU	EN		
65		ムサシモ					EN	EN	EN		
66		ヒロハトリゲモ								VU	
67		イトトリゲモ					NT	VU	NT		
68		イバラモ						N-I	CR		
69		オオトリゲモ								NT	
70		ミズオオバコ					NT	N-III			
71		シバナ	シバナ					NT	CR	NT	
72	アマモ	エビアマモ					NT	NT	NT		
73		コアマモ						NT			
74	ヒルムシロ	イトモ					NT	VU	NT		
75		ヒルムシロ								NT	
76		センニンモ						N-I	EX		
77		ツツイトモ					VU	VU			
78		ササバモ								EN	
79		リュウノヒゲモ					NT	EN			
80	カワツルモ	カワツルモ					NT	VU	NT		
81	ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ						N-III	NT		
82	シュロソウ	エンレイソウ								EN	
83		シライソウ									○
84		バイケイソウ									○
85		ミカワバイケイソウ						VU	EN	EN	○
86	ユリ	ヒロハノアマナ						VU	CR	EN	
87		カタクリ							N-III		○
88		ミノコバイモ						VU		EN	
89		ヤマユリ									○
90		ササユリ									○
91		アマナ							N-III		

表 4-1-63(3) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準							
			1	2	3	4	5	6	7	8
92	ラン	ヒナラン					VU	EN	CR	
93		シラン					NT	NT	NT	○
94		マメヅタラン					NT	NT		
95		ムギラン					NT	NT		
96		エビネ					NT	NT	NT	○
97		ナツエビネ					VU	VU	VU	○
98		ギンラン						N-III		
99		キンラン					NT	NT	NT	○
100		ナギラン					VU	VU	CR	
101		コアツモリソウ					NT	VU	EN	
102		クマガイソウ					VU	VU	VU	
103		イチヨウラン						VU	NT	
104		サワラン						CR	CR	○
105		タシロラン					NT	NT	NT	
106		アキザキヤツシロラン							VU	
107		ナヨテンマ					EN	EN	CR	
108		クロヤツシロラン						NT		
109		アケボノシュスラン						N-III		
110		シュスラン						N-III	VU	
111		オオミズトシボ					EN	EN	EX	
112		ムカゴソウ					VU	VU	CR	
113		ホクリクムヨウラン							VU	
114		トサノクロムヨウラン							VU	
115	エンシュウムヨウラン					VU	VU	VU		
116	ギボウシラン					VU	N-III	EN		
117	コ克蘭								○	
118	フウラン					NT	VU	EN		
119	ヒメフタバラン						N-III			
120	サギソウ					NT	VU	VU	○	
121	ヤマサギソウ					VU		VU		
122	トキシソウ					NT	EN	EN	○	
123	ヤマトキシソウ						VU	VU		
124	キンバイザサ	コキンバイザサ					N-III	EN		
125	アヤメ	ヒオウギ						EN		
126		ノハナショウブ								○
127		カキツバタ				NT	VU	VU		
128	ヒガンバナ	ステゴビル				VU	EN	EN	○	
129		ハマオモト						EX		
130	クサスギカズラ	キジカクシ						EX		
131	ガマ	ヤマトミクリ				NT	VU	VU		
132		ナガエミクリ					NT	NT		
133	ホシクサ	シラタマホシクサ				VU	VU	VU	○	
134		クロホシクサ					NT	EN	EN	

表 4-1-63(4) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準								
			1	2	3	4	5	6	7	8	
135	カヤツリグサ	イトテンツキ					NT	VU	NT		
136		ミノボロスゲ							VU		
137		ハリガネスゲ						VU			
138		ヤマアゼスゲ						N-III			
139		ホソバヒカゲスゲ						VU			
140		キノクニスゲ					NT		NT		
141		サワヒメスゲ						VU			
142		キシウナキリスゲ					VU	VU	NT		
143		アワボスゲ						EN	CR		
144		ヒメモエギスゲ							VU		
145		ジングウスゲ					NT	VU	NT		
146		センダイスゲ						NT	VU		
147		ヌマガヤツリ							VU		
148		オオシロガヤツリ							VU		
149		シロガヤツリ						N-III			
150		ヒメガヤツリ							VU		
151		カガシラ					VU	VU	CR		
152		セイタカハリイ							VU		
153		チャボイ					VU				
154		マシカクイ						N-II	VU		
155		クグテンツキ							VU		
156		イッスンテンツキ					CR	CR	CR		
157		トラノハナヒゲ							CR		
158		オオイヌノハナヒゲ							VU		
159		ミクリガヤ					CR	EN	CR		
160		タイワンヤマイ						N-I			
161		ノグサ							EN		
162		ミカワシンジュガヤ					VU	EN	VU		
163		コシンジュガヤ							VU		
164		ケシンジュガヤ						N-III			
165		イネ	ハネガヤ						VU	EN	
166			ヒメコヌカグサ					NT	NT		
167			コウヤザサ						N-III		
168			ヒナザサ					NT	VU	VU	
169	アラゲメヒシバ								VU		
170	イトズメガヤ								VU		
171	ウンヌケモドキ						NT	VU	VU		
172	ウンヌケ						VU	VU	NT	○	
173	アズマガヤ							VU			
174	カモノハシ								VU		
175	タキキビ								EN		
176	ウキシバ							N-III	NT		
177	ハマエノコロ								NT		
178	オニシバ								NT		
179	マツモ	ゴハリノマツモ						EN			
180	ツヅラフジ	ハスノハカズラ						N-III			

表 4-1-63(5) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準								
			1	2	3	4	5	6	7	8	
181	メギ	ヘビノボラズ								NT	
182	キンボウゲ	イチリンソウ							N-III		
183		カザグルマ					NT	VU	EN	○	
184		クサボタン							EN		
185		トリガタハンショウヅル								○	
186		セツブンソウ					NT	VU	VU	○	
187		ミスミンソウ					NT	VU	NT	○	
188		オキナグサ					NT	EN	CR		
189		シギンカラマツ							NT		
190		アワブキ	ヤマビワ							EN	
191	ヤマモガシ	ヤマモガシ							VU		
192	ツゲ	ツゲ						N-III	VU		
193	マンサク	コウヤミズキ							VU		
194	スグリ	ヤブサンザシ							VU	EN	
195	ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ								NT	
196	タコノアシ	タコノアシ					NT	NT	NT		
197	アリノトウグサ	タチモ					NT	EN	NT		
198	マメ	シバハギ								CR	
199		サイカチ								VU	
200		オオバヌスビトハギ								VU	
201		イタチササゲ								VU	
202		レンリソウ							VU	VU	
203		チョウセンキハギ						VU			
204		イヌハギ					NT	EN	VU		
205		ミソナオシ								VU	
206		クサフジ							VU		
207		ヨツバハギ								VU	
208		オオバクサフジ								NT	
209	ヒメハギ	カキノハグサ								○	
210		ヒナノカンザシ							VU		
211	クロウメモドキ	ケンボナシ								EN	
212		ハマナツメ					NT	EX			
213	アサ	コバノチョウセンエノキ							EN	EN	
214	クワ	カジノキ								EN	
215	イラクサ	ヤナギイチゴ								NT	
216		ミヤマミズ								VU	
217	バラ	ヒロハノカワラサイコ					VU	N- I	CR		
218		ハスノハイチゴ					NT	NT			
219		ミヤマワレモコウ							VU	EN	
220		ナガボノアカワレモコウ							N-III		
221		イワシモツケ								CR	
222	ブナ	ナラガシワ								EN	
223		フモトミズナラ								NT	
224	ヤマモモ	ヤチヤナギ				県指				CR	
225	カバノキ	サクラバハハンノキ					NT	NT			

表 4-1-63(6) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準										
			1	2	3	4	5	6	7	8			
226	ニシキギ	ウメバチソウ											○
227	ホルトノキ	ホルトノキ										VU	
228	トウダイグサ	ハギクソウ				県指	VU					CR	
229		シナノタイゲキ										VU	
230	コミカンソウ	ヒツバハギ							EN			VU	
231		カンコノキ							EN			VU	
232	ヤナギ	キヌヤナギ										NT	
233	スミレ	キスミレ								VU	CR		○
234	アマ	マツバニンジン						CR	EN		CR		
235	オトギリソウ	アゼオトギリ						EN	EN	EN			
236	ミソハギ	ヒメミソハギ										NT	
237		エゾミソハギ										VU	
238		ミズマツバ						NT	NT				
239		ヒメビシ						VU	EN	EN			
240		オニビシ											NT
241	アカバナ	ウスゲチョウジタデ						NT	NT				
242	ムクロジ	ハナノキ						VU				EN	
243	アオイ	ハマボウ										VU	
244	アブラナ	ミズタガラシ											NT
245		コイヌガラシ						NT	N-III				
246	イソマツ	ハマサジ						NT	EX		NT		
247	タデ	オオツルイタドリ											EX
248		ナガバノヤノネグサ								N-I		EN	
249		サトヤマタデ											NT
250		サイコクヌカボ						NT	VU		NT		
251		ヤナギヌカボ						NT	NT				
252		ナガバノウナギツカミ						NT	N-III		NT		
253		コギシギシ						NT	EN				
254		モウセンゴケ	ナガバノイシモチソウ				県指	VU	EN		CR		
255	シロバナナガバノイシモチソウ					県指					CR		
256	イシモチソウ						NT	VU	EN				
257	ナデシコ	オオヤマフスマ										VU	
258	ヒユ	ハチジョウイノコツチ											NT
259		ホソバハマアカザ								N-III			
260		ハマアカザ								N-I		VU	
261		イソホウキギ								N-I		NT	
262		マルバアカザ											NT
263		カワラアカザ											NT
264		ミドリアカザ						CR	N-III				
265		イワアカザ						CR				CR	
266		ハママツナ								N-I			
267		アジサイ	コガクウツギ										EN
268	サクラソウ	オオツルコウジ						EN	EN		DD		
269		ノジトラノオ						VU				CR	
270		トウサワトラノオ						EN				EN	

表 4-1-63(7) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準								
			1	2	3	4	5	6	7	8	
271	ハイノキ	クロミノニシゴリ						NT			
272		カンザプロウノキ							VU		
273	イワウメ	ヤマイワカガミ								○	
274	ツツジ	ドウダンツツジ								○	
275		カイナンサラサドウダン						VU		○	
276		イワナンテン								○	
277		サツキ								○	
278		レンゲツツジ								○	
279		ナガボナツハゼ				県指	CR	EN	CR		
280		アカネ	ナガバジュズネノキ						VU	EN	
281			キクムグラ							NT	
282	ミヤマキヌタソウ									CR	
283	キバナカワラマツバ								N-I		
284	ルリミノキ									NT	
285	イナモリソウ								N-III		
286	ハクチョウゲ							VU			
287	リンドウ		コケリンドウ								VU
288		ムラサキセンブリ						NT	VU	VU	
289		イヌセンブリ						NT	NT	NT	
290	マチン	ヒメナエ						VU	VU	CR	
291	キョウチクトウ	コイケマ								NT	
292		シタキシソウ								VU	
293		クサタチバナ						NT	EN	EN	
294		フナバラソウ						NT	N-III	EN	
295		クサナギオゴケ						VU	NT	NT	
296		タチガシワ								CR	
297		スズサイコ						NT	NT		
298		ヒルガオ	マメダオシ						EN	N-III	EX
299	ナス	ヤマホオズキ						VU	EN	VU	
300	ムラサキ	ホタルカズラ								EN	
301		ムラサキ						EN	EN	EX	
302	イワタバコ	イワタバコ								○	
303	オオバコ	オオアブノメ						VU	VU	VU	
304		トウオオバコ								EN	
305		ヒシモドキ						EN		EX	
306		イヌノフグリ						NT	NT		
307		カワヂシャ						NT			
308	ゴマノハグサ	ゴマノハグサ						NT	N-I	EX	

表 4-1-63(8) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準								
			1	2	3	4	5	6	7	8	
309	シソ	タチキランソウ					NT	NT			
310		ダンギク					VU				
311		タニジャコウソウ					NT		EN		
312		ジャコウソウ							VU		
313		キセワタ					VU	EN	CR		
314		マネキグサ					NT	NT			
315		シロネ							NT		
316		ヒメハッカ					NT	VU	EX		
317		ヤマジソ					NT	VU	VU		
318		ミズネコノオ					NT	EN	VU		
319		ミズトラノオ					VU	EN	VU		
320		ハマクサギ							CR		
321		シマジタムラソウ					VU	VU	NT		
322		ミゾコウジュ					NT	NT			
323		ヒメナミキ						VU	NT		
324		コナミキ					VU	EN	EN		
325		ホナガタツナミソウ						N-III			
326		イブキジャコウソウ							CR		
327		カリガネソウ						NT			
328		ハエドクソウ	スズメノハコベ					NT	VU	NT	
329		ハマウツボ	ゴマクサ					NT	EN	VU	
330			ミカワシオガマ					VU	EX	EN	○
331			シオガマギク							EN	
332			ヒキヨモギ						N-III	NT	
333			オオヒキヨモギ					NT	NT		
334		タヌキモ	イヌタヌキモ					NT	VU		
335			ミカワタヌキモ					EN	EN	CR	
336	コタヌキモ							EN	CR		
337	ヒメタヌキモ						NT	EN	EN		
338	ヒメミカキグサ						CR	EN	EN		
339	ムラサキミカキグサ						NT	VU	NT		
340	タヌキモ						NT	VU			
341	クマツヅラ	イワダレソウ						NT			
342	モチノキ	ナナミノキ						VU			
343	キキョウ	サワギキョウ						NT			
344		キキョウ					NT	VU	VU		
345	ミツガシワ	ミツガシワ						N-II	EX		
346		ヒメシロアサザ					VU	EN	EN		
347		ガガブタ					NT	VU	NT		

表 4-1-63(9) 文献により確認された植物の重要な種

No.	科名	種名	重要な種選定基準								
			1	2	3	4	5	6	7	8	
348	キク	エンシュウハグマ									○
349		フクド					NT		EN		
350		ヒメヨモギ							CR		
351		ヒメシオン							EN		
352		ヤマジノギク							CR		
353		ヤナギノギク					VU	VU	VU		
354		ヒゴタイ					VU		EX	○	
355		イズハハコ					NT	NT	VU		
356		フジバカマ					NT	VU	EN		
357		サケバヒヨドリ							NT		
358		ミズギク						N-III	NT		
359		カセンソウ							EN		
360		ノニガナ						N-III			
361		ミコシギク					EN	CR	CR	○	
362		ネコノシタ							NT		
363		ホクチアザミ						N-II	EN		
364		ミヤコアザミ							EN		
365		ヒメヒゴタイ					VU	EN	EX		
366		キクアザミ							EN		
367	ウラギク					NT	VU	VU			
368	オナモミ						N-III				
369	セリ	ホソバナダケ					DD				
370		アシタバ							NT		
371		ミシマサイコ					VU	VU	EN		
372		ハナウド							VU		
373		イブキボウフウ							VU		
374		フキヤミツバ					EN	EN	CR		
375		ヌマゼリ					NT	EN	EX		
376		ガマズミ	レンブクソウ						N-III		
377	スイカズラ	ヤマヒョウタンボク						N-III			
378		マツムシソウ							NT		
379		イワツクバネウツギ					VU	EN	EN		
	110科	379種	0種	0種	0種	5種	158種	214種	279種	44種	

注1) 種名及び配列は主に「令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト(国土交通省、令和6年)」

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表4-1-62に示すとおりである。

4) 重要な植物群落等

① 特定植物群落

「第2回自然環境保全基礎調査日本の重要な植物群落の分布」(昭和57年、環境庁)、
「第3回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」(平成元年、環境庁)及び「第5回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)によると、調査区域では、特定植物群落として、「葦毛(イモウ)湿原」等の4件が確認され、それらの名称や位置は表4-1-64及び図4-1-27に示すとおりです。

事業実施区域においては、特定植物群落は存在しません。

表4-1-64 特定植物群落

No.	調査回	名称	選定基準	相観区分	面積(ha)
1	2	石巻山石灰岩地植物群落	D	暖温帯夏緑広葉低木林	3.0
2	2	葦毛(イモウ)湿原	D	湿地植生	3.0
3	3	多米峠北部イヌツゲ自生地	H	個体(群)	1.0
4	3	傘呂八幡宮のスダジイ林	E	暖温帯植生	1.0

注) 選定基準は以下のとおりである。

A: 原生林もしくはそれに近い自然林

B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群

C: 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落又は個体群

D: 砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの。

F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

G: 乱獲その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群

H: その他、学術上重要な植物群落又は個体群

出典: 「第2回自然環境保全基礎調査日本の重要な植物群落の分布」(昭和57年、環境庁)

「第3回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」(平成元年、環境庁)

「第5回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)

② 巨樹・巨木林

「第4回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」（平成7年、環境庁）、「第6回自然環境基礎調査巨樹・巨木フォローアップ調査報告書」（平成13年3月、環境省自然環境局生物多様性センター）によると、調査区域では、巨樹・巨木林として20件が確認され、それらの名称や位置は表4-1-65及び図4-1-28に示すとおりです。

事業実施区域において、巨樹・巨木林は存在しません。

表4-1-65 巨樹・巨木林

No.	所在地	名称	樹種	幹周 (cm)	樹高 (m)
1	豊橋市	金田ナギ	ナギ	600	18
2		ナベ山下スギ	スギ	560	31
3		多米スギ	スギ	300	15
4		龍岩院クスノキ	クスノキ	393	25
5		鞍掛神宮シイノキ	シイノキ	360	25
6		平川神明社スダジイ	スダジイ	360	15
7		小見堂シイノキ	シイノキ	650	20
8		二連木城址クスノキ	クスノキ	330	20
9		神明社シイノキ	シイノキ	注2	10
10		シイノキ	シイノキ	343	18
11		イズモ公園クスノキ	クスノキ	300	15
12		市役所内ラクウショウ	ラクウショウ	486	25
13		龍粘寺クスノキ	クスノキ	600	20
14		小池神社クスノキ	クスノキ	300	15
15		素盛鳴神社クスノキ	クスノキ	335	20
16		大崎イチョウ	イチョウ	400	10
17		豊橋公園ムクノキ	ムクノキ	340	13
18		進雄神社	スダジイ	312	13
19		神明社	クスノキ	381	20
20		水神社	イチョウ	341	25

注1) 地点番号は図4-1-28に対応する。

注2) 神明社シイノキの幹周は記録されていない。

出典：「第6回自然環境基礎調査巨樹・巨木フォローアップ調査報告書」（平成13年、環境省自然環境局生物多様性センター）

「第4回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」（平成7年、環境庁）



出典：「第6回自然環境基礎調査巨樹・巨木フォローアップ調査報告書」（平成13年、環境省自然環境局生物多様性センター）
 「第4回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」（平成7年、環境庁）

図4-1-28 巨樹・巨木林位置図

③ 文化財指定されている樹木等（天然記念物）

調査区域では、天然記念物（植物）として10件が確認され、それらの名称や位置は表4-1-66及び図4-1-29に示すとおりです。

事業実施区域において、天然記念物（植物）は存在しません。

表4-1-66 植物に係る天然記念物

No.	指定	名称	所在地	指定年月日
1	国	石巻山石灰岩地植物群落	豊橋市石巻町字南山93	昭和27年10月11日
2	国	葦毛湿原	豊橋市岩崎町字長尾・南山	令和3年10月11日
3	県	お葉つきイチョウ	豊橋市船渡町字城戸中20	昭和30年7月1日
4	県	豊橋のナガバノイシモチソウ 自生地	豊橋市佐藤町字池下4-1	令和3年8月6日
5	市	玉泉寺のナギ	豊橋市石巻町字寺前11	昭和32年9月19日
6	市	普門寺の大スギ	豊橋市雲谷町字ナベ山下7	昭和43年6月19日
7	市	春日神社のマキ	豊橋市多米東町1-20-3	昭和42年2月17日
8	市	野依八幡社のシダレザクラ	豊橋市野依町字八幡1	平成11年2月22日
9	市	長楽のヒノキ	豊橋市石巻本町字板取17	昭和50年1月21日
10	市	三太郎池湿地	豊橋市岩崎町字長尾75-1	令和5年10月27日

注) 地点番号は図4-1-29に対応する。

出典：「郷土の文化財資料 豊橋市の文化財」（豊橋市美術博物館ホームページ）



出典：「郷土の文化財資料 豊橋市の文化財」（豊橋市美術博物館ホームページ）

図 4-1-29 天然記念物（植物）位置図

(4) 生態系の状況

1) 自然環境の類型化

豊橋市自然環境保全基礎調査報告書（平成27年3月、豊橋市）を参考とし、調査区域における自然環境区分を表4-1-67のとおり区分しました。自然環境類型区分図を図4-1-30に、自然環境類型区分の横断模式図を図4-1-31に示します。

地形については、豊橋市東部の静岡県と愛知県の県境付近に位置する弓張山地一帯の「山地」、豊橋市南部の天伯台地等の「台地」、豊川及び梅田川、柳生川等の河川沿いの「低地」の3つに区分されます。

植生については、環境省の植生図によると、ミミズバイースダジイ群集などの常緑広葉樹の自然林や二次林、ハンノキ群落やコナラ群落など落葉広葉樹の二次林、スギ、ヒノキ、サワラなどの常緑針葉樹の自然林や植林、ヨシクラス、ヒルムシロクラス、砂丘植生等の様々なタイプが見られます。

表4-1-67 自然環境の類型区分の概況

No	地形区分	主な植生・土地利用	特徴
1	山地	<ul style="list-style-type: none"> スギ・ヒノキ・サワラ植林 コナラ群落 シイ・カシ二次林 ミミズバイースダジイ群集 ハンノキ群落など 	<ul style="list-style-type: none"> 主に樹林が広がり、山裾にはため池が点在する。 スギやヒノキの人工林が広がり、コナラやシイ類の二次林も多い。 ミミズバイースダジイ群集やハンノキ群落等の自然林がわずかに点在する。
2	台地	<ul style="list-style-type: none"> 畑地雑草群落、市街地 シイ・カシ二次林 ミミズバイースダジイ群集 トベラーウバメガシ群集 ヨシクラス等 	<ul style="list-style-type: none"> 主に畑地や市街地が広がり、ため池が点在する。 表浜沿岸の海食崖にはトベラーウバメガシ群集などの海岸風衝低木林が見られる。 神社等にミミズバイースダジイ群集が残存する。 ため池周辺にヨシクラスなどが生育する。
3	低地	<ul style="list-style-type: none"> 水田雑草群落、市街地 ヨシクラス 	<ul style="list-style-type: none"> 主に水田や市街地が広がる。 豊川ではヨシクラス、オギ群集等の草地、ヤナギ群落

出典：「豊橋市自然環境保全基礎調査 報告書」（平成27年3月、豊橋市）

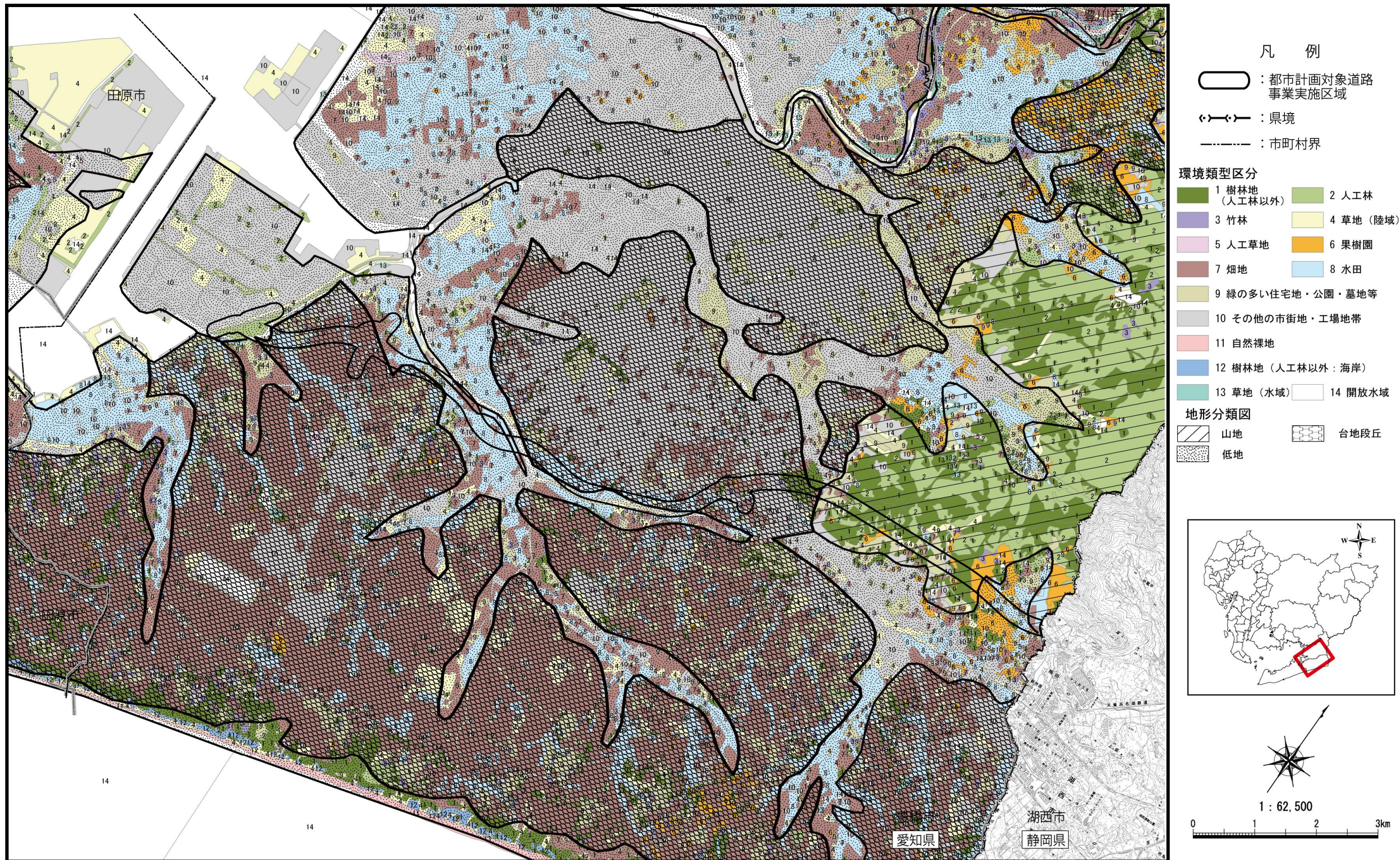


図 4-1-30 自然環境類型区分

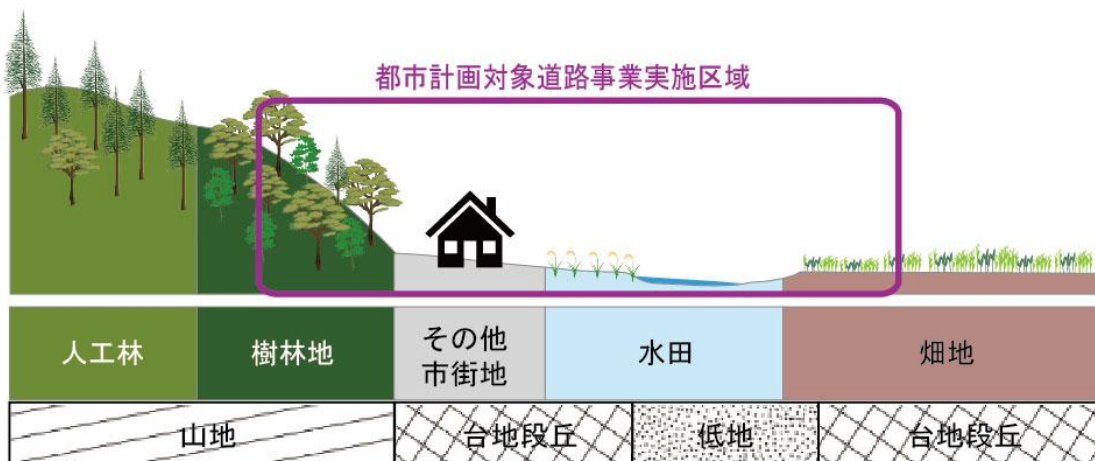


図 4-1-31 自然環境類型区分の横断模式図

2) 生態系エリア

豊橋市自然環境保全基礎調査報告書（平成27年3月、豊橋市）を参考とし、調査区域における生態系エリアを表4-1-68のとおり区分しました。生態系エリア区分図を図4-1-32に示します。

豊橋市東部の弓張山地一帯を中心とした「山地－樹林主体の生態系」及び「山地－湿地の生態系」、豊橋市南部の天伯台地等を中心とした「台地－農耕地の生態系」、遠州灘を中心とした「低地－表浜沿岸樹林の生態系」及び「低地－海浜の生態系」、豊川周辺を中心とした「低地－河川沿川の生態系」、三河湾沿いの干潟周辺を中心とした「低地－干潟・干拓地の生態系」、豊橋市街地を中心とした「台地・低地－市街地の生態系」の8区分となりました。

このうち、事業実施区域が通過または周辺に位置する5つの生態系エリアについて、注目すべき種を抽出することとしました。

表4-1-68 生態系エリアの区分の概況

No.	生態系区分	注目種の選定対象
①	山地－樹林主体の生態系	○
②	山地－湿地の生態系	○
③	台地－農耕地の生態系	○
④	低地－表浜沿岸樹林の生態系	×
⑤	低地－海浜の生態系	×
⑥	低地－河川沿川の生態系	×
⑦	低地－干潟・干拓地の生態系	○
⑧	台地・低地－市街地の生態系	○

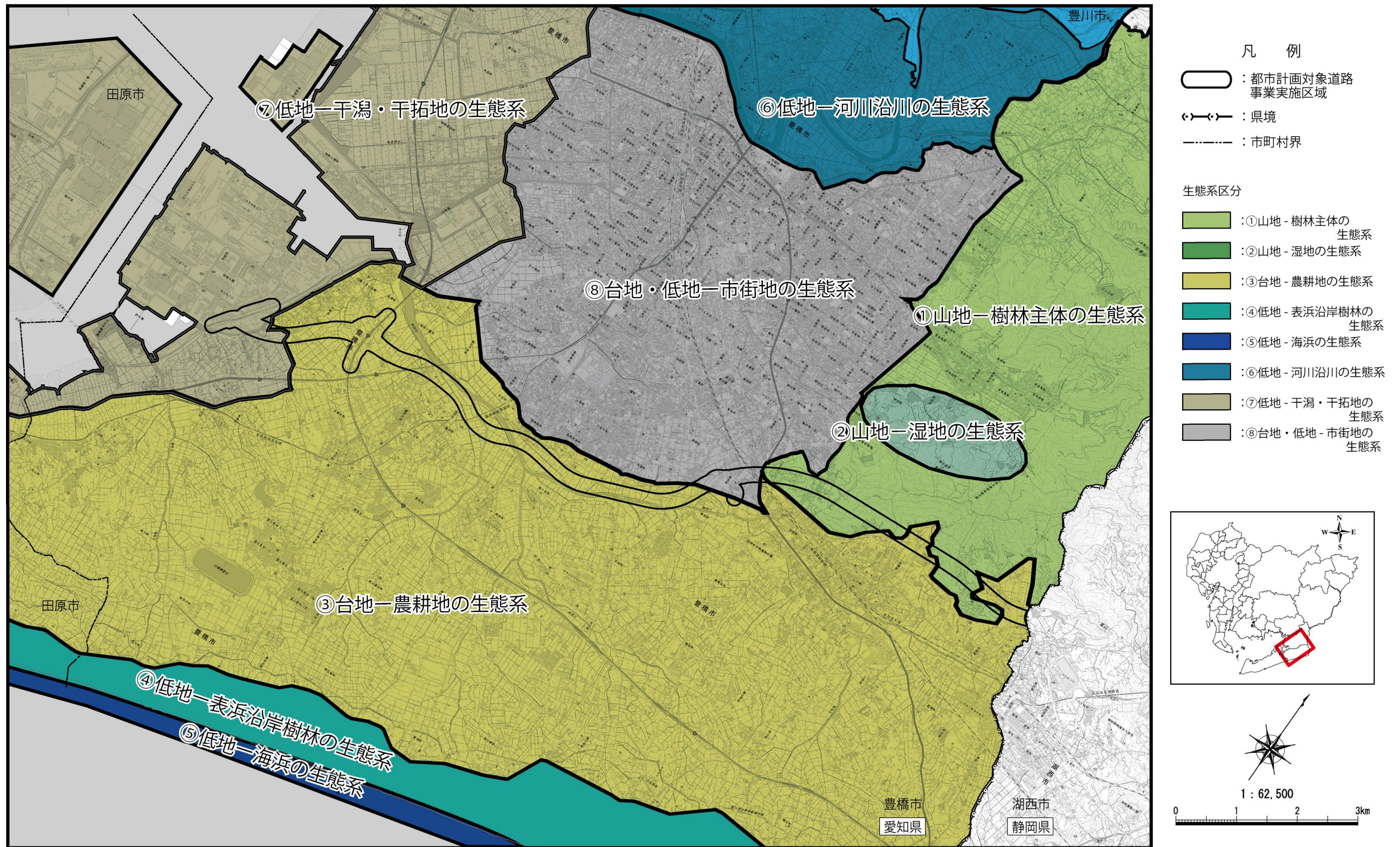


図4-1-32 生態系エリア区分図

3) 主な動物相、植物相の状況

自然環境の生態系区分を基に、調査区域に生息又は生育が想定される代表的な動物物を表4-1-69に示します。

表4-1-69 自然環境の類型区分と生息・生育が想定される動植物

生態系区分	主な生息・生育基盤	主な動物種	主な植物種
山地－樹林主体	<ul style="list-style-type: none"> ・スギ・ヒノキ・サワラ植林 ・コナラ群落 ・シイ・カシ二次林 ・ミミズバイースダジイ群集 ・ハンノキ群落など 	ノウサギ、ニホンリス、 <u>アカネズミ</u> 、 <u>タヌキ</u> 、 <u>キツネ</u> 、 <u>テン</u> （ <u>ホンドテン</u> ）、 <u>アナグマ</u> 、 <u>イノシシ</u> 、 <u>ニホンジカ</u> 、 <u>オオタカ</u> 、 <u>サシバ</u> 、 <u>ノスリ</u> 、 <u>サンコウチョウ</u> 、 <u>ヤマガラ</u> 、 <u>シジュウカラ</u> 、 <u>オオルリ</u> 、 <u>キビタキ</u> 、 <u>ホオジロ</u> 、 <u>タカチホヘビ</u> 、 <u>アカハライモリ</u> 、 <u>ニシシマドジョウ</u> 、 <u>カワムツ</u> 、 <u>コノシメトンボ</u> 、 <u>リスアカネ</u> 、 <u>ミヤマセセリ</u> 、 <u>イチモンジセセリ</u> 、 <u>ミドリシジミ</u> 、 <u>ウラゴマダラシジミ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>スジグロシロチョウ</u> 、 <u>シロオビチビサビキコリ</u> 、 <u>ムラサキヒメカネコメツキ</u> 、 <u>ノコギリクワガタ</u> 、 <u>ゲンジボタル</u> 、 <u>カネコトタテグモ</u> 、 <u>キノボリトタテグモ</u> 、 <u>オモイガケナマイマイ</u> 、 <u>ヤマタニシ</u>	イワタカンアオイ、シオガマガキ、ミワカバイケイソウ、カタクリ、カノツメソウ、 <u>ヌマガヤ</u> 、 <u>シラタマホシクサ</u>
山地－湿地		ノウサギ、 <u>タヌキ</u> 、 <u>イノシシ</u> 、 <u>サシバ</u> 、 <u>ノスリ</u> 、 <u>サンコウチョウ</u> 、 <u>オオルリ</u> 、 <u>キビタキ</u> 、 <u>タカチホヘビ</u> 、 <u>アカハライモリ</u> 、 <u>ホトケドジョウ</u> 、 <u>シオヤトンボ</u> 、 <u>ムカシヤンマ</u> 、 <u>ルリシジミ</u> 、 <u>ミドリシジミ</u> 、 <u>ウラゴマダラシジミ</u> 、 <u>コムラサキ</u> 、 <u>チュウガタシロカネ</u> 、 <u>ジョロウグモ</u>	ミズスギ、モウセンゴケ、サワギキョウ、スイラン、ミカヅキグサ、 <u>ヌマガヤ</u> 、 <u>シラタマホシクサ</u>
台地－農耕地	<ul style="list-style-type: none"> ・畑地雑草群落、市街地 ・シイ・カシ二次林 ・ミミズバイースダジイ群集 ・トベラーウバメガシ群集 ・ヨシクラス等 	ノウサギ、 <u>ハタネズミ</u> 、 <u>タヌキ</u> 、 <u>キツネ</u> 、 <u>テン</u> （ <u>ホンドテン</u> ）、 <u>カルガモ</u> 、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオサギ</u> 、 <u>オオタカ</u> 、 <u>カイツブリ</u> 、 <u>タマシギ</u> 、 <u>オオヨシキリ</u> 、 <u>ホオジロ</u> 、 <u>ヤマカガシ</u> 、 <u>ニホンアマガエル</u> 、 <u>トノサマガエル</u> 、 <u>ツチガエル</u> 、 <u>ニホンカナヘビ</u> 、 <u>ヒガシニホントカゲ</u> 、 <u>オイカワ</u> 、 <u>マハゼ</u> 、 <u>オオヤマトンボ</u> 、 <u>ウチワヤシマ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、 <u>イチモンジセセリ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>ニセアカムネグモ</u> 、 <u>イナダハリゲグモ</u>	スダジイ、クロバイ、ヒサカキ、ウバメガシ、ニシキソウ、イラクサ
台地・低地－市街地		<u>タヌキ</u> 、 <u>キツネ</u> 、 <u>オオタカ</u> 、 <u>ヒレンジャク</u> 、 <u>メボソムシクイ</u> 、 <u>チュウサギ</u> 、 <u>ホオジロ</u> 、 <u>ニホンアマガエル</u> 、 <u>ニホンイシガメ</u> 、 <u>ニホンカナヘビ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、 <u>ギンヤンマ</u> 、 <u>イチモンジセセリ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>ゲンジボタル</u> 、 <u>ネハコグモ</u> 、 <u>イナズマハエトリ</u>	ヨシ、クロマツ
低地－表浜沿岸樹林	<ul style="list-style-type: none"> ・水田雑草群落、市街地 ・ヨシクラス 	ノウサギ、 <u>タヌキ</u> 、 <u>キツネ</u> 、 <u>アナグマ</u> 、 <u>マダラウミスズメ</u> 、 <u>ウトウ</u> 、 <u>カモメ</u> 、 <u>シロチドリ</u> 、 <u>コアジサシ</u> 、 <u>ヤマトサンショウウオ</u> 、 <u>クルマバツタ</u> 、 <u>ムラサキツバメ</u> 、 <u>シロスジコガネ</u> 、 <u>クロズハマベゴミムシダマシ</u> 、 <u>アシプトヒメグモ</u> 、 <u>ヘリジロオニグモ</u>	スダジイ、ハチジョウススキ、ハマヒサカキ、イワタカンアオイ、 <u>コアジサイ</u>
低地－海浜		ノウサギ、 <u>タヌキ</u> 、 <u>キツネ</u> 、 <u>アナグマ</u> 、 <u>マダラウミスズメ</u> 、 <u>ウトウ</u> 、 <u>カモメ</u> 、 <u>シロチドリ</u> 、 <u>コアジサシ</u> 、 <u>アカウミガメ</u> 、 <u>シロスジコガネ</u> 、 <u>クロズハマベゴミムシダマシ</u> 、 <u>ハマベゾウムシ</u> 、 <u>ハヤテグモ</u> 、 <u>タカノハエトリ</u>	コウボウムギ、ツルナ、ハマニガナ、ハマウド、ハマアザミ、 <u>オニシバ</u>
低地－河川沿川		<u>タヌキ</u> 、 <u>イカルチドリ</u> 、 <u>イソシギ</u> 、 <u>ヤマカガシ</u> 、 <u>ナゴヤダルマガエル</u> 、 <u>アユ</u> 、 <u>オイカワ</u> 、 <u>ウグイ</u> 、 <u>オニヤンマ</u> 、 <u>キマダラセセリ</u> 、 <u>ムナグロチャイロテン</u> （ <u>ホンドテン</u> ） <u>トウ</u> 、 <u>ヤナギハムシ</u> 、 <u>ハイイロヒメグモ</u> 、 <u>シモフリヒメグモ</u>	マダケ、エノキ、 <u>アズマガヤ</u> 、 <u>オギ</u> 、 <u>セイバンモロコシ</u>
低地－干潟・干拓地		<u>キアシシギ</u> 、 <u>イソシギ</u> 、 <u>ハマシギ</u> 、 <u>ダイゼン</u> 、 <u>ツルシギ</u> 、 <u>ウズラシギ</u> 、 <u>イカルチドリ</u> 、 <u>チュウヒ</u> 、 <u>ヤマトサンショウウオ</u> 、 <u>キセルハゼ</u> 、 <u>タウナギ</u> 、 <u>マサゴハゼ</u> 、 <u>アジアイトトンボ</u> 、 <u>セスジイトトンボ</u> 、 <u>ジュウクホシテン</u> （ <u>ホンドテン</u> ） <u>トウ</u> 、 <u>ムナグロチャイロテン</u> （ <u>ホンドテン</u> ） <u>トウ</u> 、 <u>カコウコモリグモ</u> 、 <u>ホトトギスガイ</u> 、 <u>アサリ</u> 、 <u>オカミミガイ</u> 、 <u>ヘナタリ</u>	フクド、 <u>アイアシ</u> 、 <u>シバナ</u> 、 <u>シバナ</u> 、 <u>コウボウシバ</u> 、 <u>ハマヒルガオ</u> 、 <u>ハマボウ</u>

注) 下線は注目すべき種・群集を示す

4) 注目すべき種・群集の候補の抽出

調査区域に生息・生育すると想定される動植物のうち上位性、典型性、特殊性の視点から注目される動植物の種または生物群集（以下、「注目種・群集」とします。）を抽出しました。

注目種・群集の抽出視点は、表 4-1-70 に示すとおりです。

自然環境の類型区分に従って選定した注目種・群集を表 4-1-71 に示します。

表 4-1-70 注目種・群集の抽出視点

抽出基準	注目種・群集の抽出視点
上位性	生態系の上位に位置する動物が対象となります。 上位性の視点から抽出される指標種・群集の例として、ワシ・タカ等の猛禽類やキツネ、ツキノワグマ等の中・大型哺乳類等があげられます。
典型性	生態系の特徴を典型的に表す種が対象となります。 調査区域に優占する植物種または植物群落、それらを捕食する動物（一次消費者程度）、個体数が多い動物などが対象となります。
特殊性	生態系において特殊な環境であることを示す指標となる種が対象となります。 相対的に分布範囲が狭い環境、または質的に特殊な環境に生息・生育する動植物が対象となります。

表 4-1-71 地域の注目種・群集

区分	分類	名称	分布が想定される生態系区分				
			山地－ 樹林主体	山地－ 湿地	台地－ 農耕地	低地－ 干潟干拓地	台地－ 低地市街地
上位性	哺乳類	キツネ	●		●		
		テン(ホンドテン)	●		●		
	鳥類	オオタカ	●		●		●
		サギ類	ダイサギ			●	
		アオサギ					
典型性	哺乳類	アカネズミ	●				
		タヌキ	●		●		●
		ハタネズミ			●		
	鳥類	カラ類	ヤマガラ	●			
			シジュウカラ				
			カルガモ			●	
			ホオジロ	●		●	
	両生類	ニホンアマガエル			●		●
	爬虫類	ニホンカナヘビ			●		●
		ヒガシニホントカゲ			●		
	魚類	オイカワ			●		
		マハゼ			●		
	昆虫類	アゲハ	●		●		●
		モンキアゲハ	●				
		イチモンジセセリ	●		●		●
		ゲンジボタル	●				●
		シオカラトンボ			●		
		ノコギリクワガタ	●				
		ミドリシジミ類	ミドリシジミ	●	●		
		ウラゴマダラシジミ					
特殊性	干潟の鳥類	シギ類	イソシギ			●	
			キアシシギ				
			イカルチドリ			●	
	塩生植物	シバナ				●	
		アイアシ					
	湿地性植物	ヌマガヤ	●	●			
		シラタマホシクサ					